

安城文化協会実施事業アンケート 意見欄

「安城文化」について
年2回現状のままで後2回は電子化にしたほうがいいと思います。全部電子化にするとインターネットを使えない世代がまだまだいると思います。
電子化すると私は見ることをしなくなると思う
年2回くらい
文化協会のホームページもあるので会員の方々にもっと活用していただく意味でも、機関誌をホームページへ移行するべきではないだろうか。印刷費も浮くことになる。電子化となれば、例えば、年12回の会議を8回ぐらいでできると思われる。
電子化と併用又は機関誌をHPでものせていくというもあり
「安城文化」少し文字が多すぎてなかなか読む気にならない。もう少しまとめて短い文面で。リレー随筆は「家族が見た〇〇〇先生はどんな人？」など目線を変えたら楽しいかも。
安城文化とチラシが同じ時ありムダ
2回でよい。春・秋
年2回でよい
暑中見舞等の幹事名誉会員等の羅列の記事は止める
年2回でも良いと思う
部数が多いと思う
年3回。部数も少なく。
夏・冬（年始と盆）など、年2回程度が費用や幹事の皆様他の負担も減るのではないかなと思います。
報告事項だけでなく、事業予告、各グループの今後の事業紹介を入れたらどうか。
電子化に対応出来ない方には、引き続き紙配布とする。紙配布を不要とする団体にはインセンティブとして、節減効果の一部を「節減協力費」として支給する。

文協祭美術展について
団体数の減少もあるので、一般公募（賞を付けて）で募集の分野を作ってはどうか。文化協会入会につなげる手段にもなると思う。安美展に出せない（作品サイズ等の理由他）方も受け入れるような公募形式で実施など
（行くことは大切だが）内容に味付けを加える意味でギャラリートーク（各会の）もよかった
前期後期に分けず1回にできないか
観覧者数見ると少なくさびしい限りです。見て下さいの展示も良いが、一般の市民も参加出来るコーナーを設けたら。そうすれば会員増強にも繋がると思います。
各会が作品展やってる会は負担に思っていないでしょうか？
会員数が減少なら1回の開催に減らしてもよいのでは？
展示スペースは作品の複数化を促して空いた場がないように願います
年1回でも良いと思う
サイズを見直し1回ですべてを見たい。今迄に3回しか見ていない。あんくるバスで2回乗り換え、大変です。
会員の発表の場は大切
美術部門の皆様が一番良いと感じる形が良いと思います。
会員の高齢化に伴い展示などを業者に依頼するなどの方法も検討したらどうでしょうか？
・各グループごとの展示に併せて、全グループが一同に展示できるスペースを設けて小品を展示。
・ギャラリートーク、体験講座など一般の人が多く参加する場面をつくる。

文協祭文技趣展について
広い会議室で合同で展示してはどうか。団体の交流にもなるし、会議室の使用料も減りにぎわいができるのでは。
金曜日が来訪者が少ないので土日だけにするか、金は午後からで。
私共の会は経皮的にそんなにかかっていないと思うのですが、かかっている所には見直しも必要かと思います。金曜の市民会館で健康診断を行っている同じ階で展示をしましたが全く集客には繋がりませんでしたので割り振りを工夫して欲しいです
高齢者にとっては、あまり会場があっちこっちになると見に行くのが大変。出来るだけ文化センターだけで出来ないだろうかと思う。
年2回の作品展は1回でよい。一般の来場者が少なく、経費の無駄、当番の無意味を感じます。会場も市民会館と文化センターに分けず、1カ所で開くよう工夫して欲しい。
来場者を増やす仕掛けが必要
宣伝に務める。新聞店、JA、商工会、その他の団体のPR誌に記事を要望する
会期短縮。観客動員を考慮すること。
発表の場は大切

文芸部門の皆さんが、一番良いと感じる形が良いと思います。体験教室があるのはとても良いと思います。
体験をまとめて行えると良いのでは？

文協祭芸能まつりについて
①例年観客数が少ないです。最後の番組の観客は26名でした。出演されたメンバーも2番組は見て帰るとか事務局より役員世話人にPRを徹底する
②予算があれば最後まで観客された方には記念品を与えるとか。
文協の周年事業の年にテーマを決めて、芸能団体に演じてもらってはどうか、又は団体同士がコラボで演じては。
もう少し見学者が増えるように、SNSで流し、参加団体の呼びかけを
費用がかかる分野だとは思いますが、春は合同にするとか若い方、始められたばかりの方等にする等何らかの見直しは必要とは思いますが。
以前は土日だったが1日になって良いと思います。それぞれのグループで長時間やるのも良いが、他のグループとのコラボして舞台も楽しいと思う。
毎回見学者が少ない（文化センターではダメですか）
会場の見直しが必要だと思います。市民会館ホールで数名～数十名の観客では、出演者も気の毒です。
経費が多くかかっている割には観覧車が少ない
経費の捻出方法等考慮
（例）クラウドファンディング
宣伝に務める。新聞店、JA、商工会、その他の団体のPR誌に記事を要望する
観客を増やす方法を考える
観客動員に知恵をしばること
発表の場は大切
舞台打合せは必要と思いますが、その前の全体説明会は、特に大きな変更点などが無いのであれば、メールか書面だけで良いのでは？と思います。
ポスターを町内会に配布する。
会場（市民会館ホール）は見直しを検討するようお願いいたします。アンフォーレや文化センターホールならば、より規模が適切かと思います。市民の観客も増えると思います。経費も下げられると思います。
高齢化になり会員も少なくなった。係の仕事と出演者で人数が不足している。遠方からの参加者多数。客が少ない。
文化センターホールで実施できる方法を検討したらどうか。

安城文化賞について
13+13+6=32万円を最小限に見直し
例えば、会場をアンフォーレにして、ホールで授賞式を行い、その後太鼓や軽音楽、弦楽などコンサートを実施してはどうか。コンサートは一般の方々も有料で入場できるとか。祝賀会は無くても良いかも。
文化賞としての重みが増すように、発表の場としての公報などで大きくとりあげる
コロナ禍の時にお赤飯を頂いたことがありましてそれで充分ではないかな？とも思います。受賞メッセージや活動を動画にしたものをアンフォーレの大型ビジョンで流したり、キャッチで放送されてはいかがでしょう？
以前に比べると会員同士の交流がへって来ているので是非続けてほしいと思います。
以前から有り歴史はあろうがなぜ必要か又どうにもやらなくてはいけないか又順番にしているような感有り
祝賀会行わなくてよい
祝賀会は実費徴収でよいのではないか
大いに、意気、いきごみを高揚する場にして文協の活動の原点にしてもらいたい。
祝賀会はなくてもいいかなと思う
参加費は全額納める。
選考委員会への候補者推薦方法を一度考えてみることに。
皆様にとって意義・価値のあるものなのであれば励みになると思うので良いと思います。
会員に市街の人が多く、安城市のことがよくわかっていないので…
選考委員会、審査委員会に疑問があります

市民芸術祭「文芸・技芸・趣味展の集い」について
市民芸術祭は市民全体に向けた事業なので、ワークショップを実施するなど参加できる内容をもりこむのは、どうだろうか。例えば各団体がブースを設けて、子供達がいくつかを体験したら、プレゼントをもらえるなど、楽しめるイベントとして実施してみても。
文協祭と一緒にして又は文協祭を芸術祭と一緒にして年一回でも。

例えば告知ハガキを使用し、スタンプいくつ押印で芸能まつりチケットプレゼントとか（茶華道展示会招待券）そのようなお楽しみもあっても良いかなと思います。費用はかかりますが、「重ね押スタンプラリー」というのがどのイベントにもあり、そちらも記念になり万博バピリオンでもありましたので楽しいです。
市の文芸活動の助成となれば意義ある事と思います。
5月10月とやらなくてどちらか1回でよいのでは
宣伝に務めて関心を集めて新人の参加を促したい
会期の問題を当事者間で検討すること。
市の事業という面を全面におしだすのであれば、このアンケートではなく、広く市民一般から意見を集める方が良いのでは？と思います。

市民芸術祭「芸能まつり」について
最後の番組の観客数は53名でした。観客数を増やす方法を検討ください。
秋の市民芸能まつりは、文協以外の市民団体も含めるため2日間実施されると思われるが、2日目の団体には1日目を観覧してもらうなど、団体同士で入場数を増やす工夫が必要かと思う。
文協祭といっしょにしてはどうか
経費削減できないですか？
文芸活動も各個人が負担しているのだから芸能発表もある程度個人負担があってもよいのでは？
5月10月とやらなくてどちらか1回でよいのでは
日曜日に出演が片寄るが文協会員を優先したほうがいいと思う。会員でない人は土曜日にあてる
会場及び開催方法の見直しが必要。客席がガラガラです。
客の入りが悪すぎる
よくわかりませんがグループによっては広い会場に観客が少ない場合は淋しいのは小さめの会場の方が良いのではと感じました
観客を増やすためにできることは？
市の事業という面を全面におしだすのであれば、このアンケートではなく、広く市民一般から意見を集める方が良いのでは？と思います。
出演料を出し、お客様への抽選会を行う。
10月も1回でいい。
会場（市民会館ホール）は見直しを検討するようお願いします。アンフォーレや文化センターホールならば、より規模が適切かと思います。市民の観客も増えると思います。経費も下げられると思います。「全額市の委託料」ですが、税金ですので、有効利用をお願いします。
高齢化になり会員も少なくなった。係の仕事と出演者で人数が不足している。遠方からの参加者多数。客がいない。
文化センターホールで実施したらどうでしょうか？

市民芸術祭「文芸まつり発表大会」について
それなりに作品は多くなっているが川柳を加えるなどにしてはどうか？また、市内在住だけでなく安城市に感心のある人なら誰でも応募できるようにしたらどうか
若手の文芸への足がかりとなるべく、発表大会は今後続けるべきだと思う。
5月10月とやらなくてどちらか1回でよいのでは
経費がかかりすぎ
入賞者に文協のサークルへの加入を案内できないか
結果など詳しく会報に掲載してPRに務める
市の事業という面を全面におしだすのであれば、このアンケートではなく、広く市民一般から意見を集める方が良いのでは？と思います。

選抜展・ごあ展・文化講演会について
ごあ展はやらなくてもよいかなと思います。隣で立派な作品の選抜展をやっているのでも。
呈茶は大変ですが、交流ができて良いと思います。
選抜展ごあ展等同じようなので文協祭と一緒にするのはどうか。文化講演会も文協祭に組み入れるなど
文化講演会をもう少し規模を大きくして行ったらどうか？なかなか都合がつかず鑑賞も行ってはいませんが、文化センターロビーとか、アンフォーレ1F等で展示されてみてはいかがでしょう。丈山苑も良さそうです。
選抜展のみ中止してはどうか？
選抜展は現状のままで良い。「ごあ展」以前と比べると「遊び」がなくなって楽しさ、おもしろさがない様に思う。展示室半分ぐらいで展示できるなら、一般市民の出品希望者のコーナーにしたらどうか。
選抜展は会を会員を育てようとする代表者が委嘱にいても選出されてないこと有り 一考
ごあ展を見直したほうが良い

<p>ごあ展はなくてもいいかなと思う</p> <p>一部の人、しかも高齢、観る人も限られるので、負担を感じる。毎年でなく、周年行事で巾を広げたらどうか。やらなくてもいいと思う。</p> <p>「ごあ展」は一部の方のみということでしょうか？そうであるならば、公平の観点からどうなのでしょう？経費がかかっていないのなら良いと思うのですが…。</p> <p>市街在住会員では内容が伝わっていないので</p> <p>・ごあ展の中に理事・名誉会員・若手会員のコーナーを設ける。</p> <p>・体験講座の実施。ショートコンサートなど</p>

名誉会員懇談会について
<p>総会、文化賞表彰、新年会でも交流する機会はあると思われるので</p> <p>現在初寿司で会費3,000円ですが、例えば歴博の喫茶「和caféさとてらす」貸し切りならば、ケーキセット1,000円で最大32名まで可能です（例2:00～3:00、予約1週間前まで）。高齢者も多いので簡単な茶会でも良いのでは。</p> <p>懇談会はあった方が良く飲食は不要では</p> <p>例年出席する人、しない人がはっきりしている。議題もなくただ食事するだけだから出席しない、とのお声も聞いたことがあります。芸達者な方になにかやって頂く、例としてマジック、演奏など。</p> <p>会を実施した効果が不明</p> <p>大いに、意気、いきごみを高揚する場にして文協の活動の原点にしてもらいたい。</p> <p>意見交換をしていない</p> <p>全額出していい</p> <p>いい意見交換に</p> <p>全額（または同程度）会費からであるなら、良いと思います。そうでないなら、会議として飲食なしで行うのが良いと思います。</p> <p>意見交換は会議として行えば良いのでは…。</p> <p>いつも参加している人は、常に接点のある人ばかりで、あえて懇談会は必要ないのでは？</p>

新年会について
<p>現状のままでも良いと思いますが、年々出席される方が減っているので、やらなくてもよいと思っている方がいるのかと思います。</p> <p>長寿祝は不要。特に新年会でなくても総会の後で懇親を深める意味で立食又はお茶とお菓子くらいの会を開いてもいいのでは。参加者が同じような顔ぶれなのでマンネリ化しやすいと思う。</p> <p>昨年初めてお知らせを頂きましたが、都合が合わず欠席しました。新年会を4月の総会後にする等、寒い時期をずらしたり、長寿は9月で良いのでは？</p> <p>目的に対し効果があるのかどうか。この判断によって考えれば良いと思います。出席者間の交流はなかなかむづかしく、食事するだけで終わってしまう事もある。</p> <p>大いに、意気、いきごみを高揚する場にして文協の活動の原点にしてもらいたい。</p> <p>その年度の会長は人数が多いと大変だと思う。そのあたりどうか。会長次第かな？</p> <p>長寿祝いについて、これから先の時代は見直しが必要かもしれませんね。（支えられる程の若手が多く入会してくれば良いのですが…。）</p> <p>高齢化に伴い階段に登りづらく、正座なども困難になるので、そのあたりを検討して頂きたいと思います。</p> <p>長寿祝いの色紙等は、記念品でも良いのでは？</p>

会員減少について
<p>もう何年も前に言ってますヨ！！遅い、手遅れです</p> <p>この状態で推移すると、28年度に260人ぐらいになる。団体においては後継者ができるような組織作りが必要だと思う。秋の芸術祭に参加する市民の一般団体にも文化協会に所属するように投げかけてみる。</p> <p>対策が必要と思いますが、少子高齢化の社会であること、趣味の内容が複雑化していることから、なかなかむづかしい。個人主義？個人の時代（皆で集まってやる事をわずらわしいという若者も多い）</p> <p>飲食の機会は少し減らして、会員募集のイベントを行ってみるのはどうか？アンフォーレで様々なマルシェをやっているのだからそれと合同できそうな気がします。</p> <p>イベント、ワークショップの拡充！</p> <p>各公民館でのクラブ活動があります。公民館での発表は無料ということですが、なぜ？クラブグループ等小団体でも文化協会に入会して、会員でなければ公民館発表も費用を集めてほしい、文協会員は無料とか…。他市の文協の会費は3,000円4,000円とあります。安城は安いので皆会員登録して欲しい。そうして文協の会員を増加する。</p> <p>必要だと思うが思いつかない</p> <p>積極的な勧誘活動の実施</p> <p>新しい部門を作ったらどうか。若い人の入りやすい。PRする（ヨガ部とか。発表するチャンスがない）</p>

高齢化、人口減少はどうしようもない。
既に実施している事だと思いますが、市の広報や文協会報を利用し、会の活動内容やグループ会員の現状など、会員となると何ができるかなどを問い合わせ先明示も含めて一般の人に知らせる様にしたらどうかと思います。
市内の高校生へPR (例) 各部門より出張講座する。
ホームページ等でサークルへの参加を勧誘する
老人のボケ防止を念頭において将棋囲碁マージャン等の団体を作る。安城第一を決める大イベントにする。
文化協会入会案内を作って宣伝してみたらどうでしょう(公民館講座の自主グループ等に勧誘したら)
各会の代表者・世話人に『会員増強のお願い』の依頼をする
ホームページや安城広報で募集をかける。入会すると利点がある事を知らせる。
まず一番は、「文化協会が」というよりも、それぞれの各団体、グループが若者を本気で集めようとしなければ変わらないのが現実だと思います。
ホームページの整備援助。市報、市公式LINEでの紹介。
企業内の文化活動への働きかけを行う。(会員増)
若い人たちは、文化に対しては基本的に関心を持っていると思います。バリアを低くして、若い人たちが足を運びやすくするよう工夫が必要だと思います。アンフォーレの活用も検討してください。
わかりません
・未成年(小・中・高生)は無料で会員に登録できる制度を作る。 ・市内各企業へ加入案内書、チラシなど送付し、PRする。
「文化」の範囲を広げて、幅広く加入を呼びかける。具体的にどういうものが該当するかわかりませんが、他の文化協会の状況が参考になるかもしれません。

その他意見要望等
会費が値上げされ会員の参加が簡単ではなくなりました。私の会では学生の作品も参加しており、できましたら、学生割引があればとても助かります。市民ギャラリーに飾付されることを親子共々喜んで見に来てくれます。どうぞ検討いただければと思っています。 追伸 この頃中日新聞三河版の案内ですが、安美展では上位賞名、氏名、写真などのせて頂きたかったと思ってます。案内がうすい気がします。
芸能発表会…観客数が少ない、会員数が減少 検討すべき内容 ①プログラムに大きな会社の名前を載せ寄附をつのる ②プログラムに商店街または商店の名前を載せ寄附をつのる ③寄附された金額を入場先着者?名分記念品渡す ④寄附された金額を最後まで観客者に記念品渡す ⑤入場者が少ないので会員やめる人多い ⑥魅力ある発表会にしたい(観客集まる・会員増える) ⑦プログラムは寄附金で豪華にし寄附会社が納得して戴く会社名、商店名を載せる。広告枠の大きさに寄附金が変わる。
・文化協会のホームページの情報でお知らせ一覧や機関誌の内容が古いと思います。情報はできるだけ早く掲載してほしいと思います。 ・文協の会則の中で幹事の役割として文化事業の企画推進を担当します、とあり以前の総務委員会では企画を提案し、理事会で検討してもらっていたようです。例えば80周年の事業等でも、急に提案するのは大変なので一年ぐらい前から幹事会の中でも検討してもらうなどの方法もあるように思える ・こうした文化協会のかかえる問題を2月の文化講演の後に来場の皆さんに話して、文化協会に入会してもらえるように呼びかけてはどうか。討論会やパネルディスカッション等もどうだろうか ・今後会員数も減少する中で支出を減らすことを真剣に考えなくてはいけなくなってくると思われる。紙ベースで印刷していたものは電子化することや懇親会の内容は、事業予算とは別にしたり、指摘を受けないようにしたい。 ・幹事も高齢化なので少し若い世代にも加わって欲しい。
このアンケートは収入減(会員減少)による予算減の対応のためでしょうか?予算がなければなくす行事も必要かと思います。文協会員が楽しめることが大切だと思います。 ・若い人目線の文協という考え方も大切だと思います。 ・文協に入っているメリットがないという人もいます。 ・文協の活動楽しくないという声も ・お付き合いで入っているが、会費を払ってまでという声も ・文協がなくなると寂しいと思うけれど、自主的に活動したいという所に至っていないという声もある。 ・魅力づくりをどうするか?
市内の高校・中学に体験授業をさせて頂いたり文芸部を作って頂くようにアプローチしたいです。

<p>・（美術部）今までの文協は美術芸能など文協が開催する行事を、市民は見る側だけになっている。安美展なども一般市民の出品者が多かったが、公募色が強くなり、描く楽しさの初心者が、なかなか出品出来なくなって来ています。入落のない出品の楽しさを味わえる、参加型の展覧会を文協が計画したらどうかと思います。それが文協会員の増強にも繋がって行くのではないかと思います。芸能部門なども同じことが言えます。</p> <p>・企画・運営のプロのアドバイスも必要</p> <p>文化・芸術をもっと豊かにするには…を現在安城市の方でも（文化振興計画策定審議会）でもとりあげ検討中です。</p> <p>市が市民の文化活動に対し、助成を行う事は市民の芸術への向上に繋がりを、非常に良い事と思う。しかしながら、趣味の多様化、女性の社会参加、高齢化、等により、会員数が減少しているとの事。ここで、市民への参加を促すべくPRも必要。</p> <p>市民展、芸術展を1回にし、会場も1カ所に集約して、規模を縮小する事も一つの方策かと思う。</p> <p>大変なことです、よろしくお願いします。</p> <p>どこも会員減少が課題と思われるが、若い人の感心が問題となっている市がもっと若い人へのPR活動を活発にしてほしい。「安城文化」の中味も片よりが気になる？もっともっと広い視野で発行されることを望む。</p> <p>〇〇会の手話役となる以前は、〇〇会の展示や安美展などの展示会を見る程度で、文化事業には、ほとんどかかわらない人生を歩んできました。安城文化協会の活動内容は知らないことが多く、具体的な提言は申し訳ありませんが、できません。</p> <p>「安城文化」の記事が面白くない。身近に感ずる記事を願います。例えばリレー随筆など実名を記して話題を高めたり、驚いたこと、面白かったことなど、話題の方をお願いをする。又将棋等の名人名など記載すれば盛上ると思います。</p> <p>会員数は高齢により、減少は仕方ない。どうにもならない。少なくなったからこそ出来るメリットもある。</p> <p>小さくても出展する人も見る人も楽しく、あきることのない工夫が大事だと思う。今回、書のグループの方々の作品を見てすごく心に響くものがあった。大作はそれなりに！少作品でこれだ！！そこだけ行ったり来たり。私達もそうありたいと思った。どのグループも、ただ見てもらえれば、出せばいいでは、心に残るものはない。苦勞面倒ではなく楽しくひと工夫するだけで皆さんの笑顔を次の笑顔に繋いで行く。</p> <p>グループそれぞれが意識を変えることをアピールしたい。おのずと交流が楽しくなる。</p> <p>各部会の組織と会議の充実を検討すること。</p> <p>丈山苑や安祥閣などで活動、発表、展示等安城市の会の方々がやっています。チラシ等出しているの、入会の案内を送ってみることはどうでしょうか。チラシに連絡先が記してあるので。</p> <p>私自身も高齢になりまして、今現在を楽しく活動することを目指して居ます。</p> <p>・会員の減少については現状として高齢者が多いので今後も減少することは予想できますが、これといった対策案は思いつきません。</p> <p>・新しい会員、特に若い方達の参加が切に望まれますが、カルチャーセンター等目新しい講座や種類も多く、また受講時間の選択も生活スタイルにあわせることが出来て便利な事も一因しているのかな？と思います。</p> <p>高齢化に伴うのと、市街在住の会員がほとんど。「安城市」の状況がわかりづらくなっている。活動もままならない状況なのでは…。文協祭等も、会員が少なくなったために出演できるのか…、というのが現実です。</p> <p>全体的に見直したほうが良いと思います。しかし具体的にはどうしたら良いかわかりません</p> <p>・各グループの中で若い人を選抜してもらい、グループ合同の「若い人」だけの会議組織をつくって、今後を協議してもらおう。（土日又は夜間になるか）</p> <p>・SNSの効果的な活用。ショート動画など。</p> <p>①郵送代節減の提案</p> <p>メールの活用を進める。高齢などの理由で、メールを使えない方もいると思うので、メール・郵送の選択制とし、メール希望の団体には、インセンティブとして、節減効果の一部を「節減協力費」として支給する。</p> <p>②芸能まつりの観客数増加の提案（既にやっていたらごめんなさい）</p> <p>デイサービスなど高齢者が集まる福祉施設に、開催のチラシを置かせてもらおう。職員や利用者に見てもらい、誘客につなげる。</p>
